

St.Mary's College Campus Letter

MADONNA

聖マリア学院大学キャンパスレター[マドンナ]

特集

コロナ禍における本学の取り組み

Vol.
23
2021.3



聖マリアの宝 ダル・ドゥ・ヴェールの主題

『出会い』『受難』『復活』『希望』の

ステンドグラス

聖マリアの宝と言えば、雪の

聖母聖堂とルルドが挙げられる
であろう。本学では、ミゼリコル
ディアの鐘であろうか。これ等の
他に、数多くの聖母マリア像やレ
リーフが聖マリアキヤンバスの各
所にあり、その中の一つに外来棟

ホールのステンドグラスがある。

聖マリア病院の旧本館跡地に
建てられた現・外来棟の竣工に
際し、当時の病院理事長・病院
長であった故・井手道雄先生(本
学前理事長)によって、日本への

キリスト教伝来の歴史を刻む、
ステンドグラスが構想なさ
れました。フランスのシャル
トルに工房を構えるミロー
トリック教会の歴史をテー
マにした、ダル・ドゥ・ヴェール
の主題『出会い』『受難』『復
活』『希望』のステンドグラス
が完成したのです。

随分昔の事になります
が、私もこのステンドグラス
が制作されたフランスのシャ
ルトルを訪れる機会があり
ました。パリより鉄道で1
2時間の距離にあり、静か
で、なだらかな丘陵の穀倉地帯に
ある、小じんまりとした落ち着い
た街です。聞くところによれば、
フランスの学生にとって、巡礼地
として非常に人気のある街だそ
うです。そしてここには、有名な
シャルトルの大聖堂Cathédrale
Notre-Dame de Chartresが在り
ます。フランス国内において最も
美しいゴシック建築のひとつと
されています。

1 1445年にロマネスク様式
を基礎とする大聖堂の建築が
されています。

1 卷頭言
聖マリアの宝 ダル・ドゥ・ヴェールの主題
『出会い』『受難』『復活』『希望』の
ステンドグラス

2 目次
コロナ禍における本学の取り組み
3 CAMPUS TOPICS
聖マリアの宝 ダル・ドゥ・ヴェールの主題
『出会い』『受難』『復活』『希望』の
ステンドグラス

4 ● 国家試験対策
● 入試での対策
● カトリックセンターの
クリスマスバザー2020
● 患者さんへのクリスマスプレゼント
● オンラインで楽しむ「クリスマスのつどい」

5 お知らせ
● 財務状況等の公開
● 入試での対策
● WEBオープニングパス
● 学生支援方策
● 図書館の感染対策
● 健康管理センターから
● 教育懇談会を開催しました



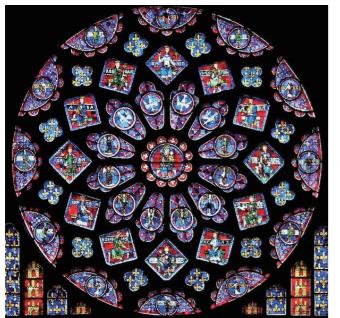
聖マリア病院・外来棟ホールのステンドグラス
ダル・ドゥ・ヴェールの主題『出会い』『受難』『復活』『希望』



シャルトル大聖堂の水彩画
網谷義郎(1923~1982)
「網谷義郎水彩画集 フランス ロマネスクの聖堂」より



シャルトルの大聖堂(駅からの遠景)



シャルトル大聖堂内のステンドグラス

始まりました。大聖堂の二つの尖塔の方(正面右)は、建築開始の頃の12世紀のロマネスク様式の塔であり、もう一方(正面左)は、大きく時代の異なる16世紀初頭のゴシック様式の塔だそうです。大聖堂のステンドグラスは緻密で、非常に素晴らしい、オペラグラスを持参して行かなかつたことが悔やまれました。所謂、シャルトル・ブルーで知られるステンドグラスです。訪問したのが11月の下旬でしたので、非常に寒く、石造りの教会堂の中は冷え冷えとしていました。だから、余計にこのブルーが心に沁みました。

最近買った古本の水彩画集に、このシャルトルの大聖堂が描かれています。網谷義郎といふ、京大法学部卒のカトリック

想された井手道雄先生は、著書『西海の天主堂路』において、長崎や福岡の天主堂の歴史や、その背景について詳しく述べられています。そしてこの著書は同時に、己の心の探求でもあった様です。

同書を執筆中の頃の、月刊「聖母の騎士」の作家・曾野綾子氏



学長 井手 三郎

<参考文献> 網谷義郎、網谷義郎水彩画集フランスロマネスクの聖堂、大阪フォルム画廊、昭和54年 / 井手道雄、西海の天主堂路、智書房、2009

聖マリア学院大学の教育理念

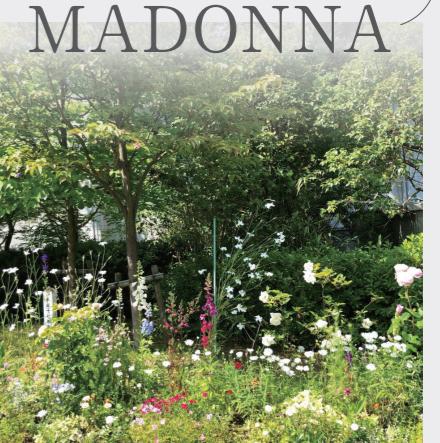
聖マリア学院大学は、「カトリックの愛の精神」に基づく教育・研究を行って、豊かな人間性と深い教養を具え、高度の看護知識と技術に基づく科学的な看護実践能力を養い、広く人間社会の健康に寄与できる篤実有能な人材を育成することを目的としています。



聖マリア学院大学の教育の特色

- 「人間の尊厳・生命を尊重する倫理、生命倫理教育」による倫理的判断能力／専門職としてのケアリング／ヒューマンケアの実践能力の育成
- シスター・カリスタ・ロイ博士提唱の「ロイ適応看護モデル」に基づく科学的思考と問題解決能力の育成
- 聖マリア病院とともに長年の国際保健医療協力に連携して実践している「国際看護学」の教育

マドンナ
Vol.23



本学の事務職員がボランティアで手入れをしている花壇。色とりどりの花々は癒しの存在。

で、なだらかな丘陵の穀倉地帯に
ある、小じんまりとした落ち着いた街です。聞くところによれば、
フランスの学生にとって、巡礼地
として非常に人気のある街だそ
うです。そしてここには、有名な
シャルトルの大聖堂Cathédrale
Notre-Dame de Chartresが在り
ます。フランス国内において最も
美しいゴシック建築のひとつと
されています。

1 1445年にロマネスク様式
を基礎とする大聖堂の建築が
されています。

1 卷頭言
聖マリアの宝 ダル・ドゥ・ヴェールの主題
『出会い』『受難』『復活』『希望』の
ステンドグラス

2 目次
コロナ禍における本学の取り組み
3 CAMPUS TOPICS
聖マリアの宝 ダル・ドゥ・ヴェールの主題
『出会い』『受難』『復活』『希望』の
ステンドグラス

4 ● 国家試験対策
● 入試での対策
● カトリックセンターの
クリスマスバザー2020
● 患者さんへのクリスマスプレゼント
● オンラインで楽しむ「クリスマスのつどい」

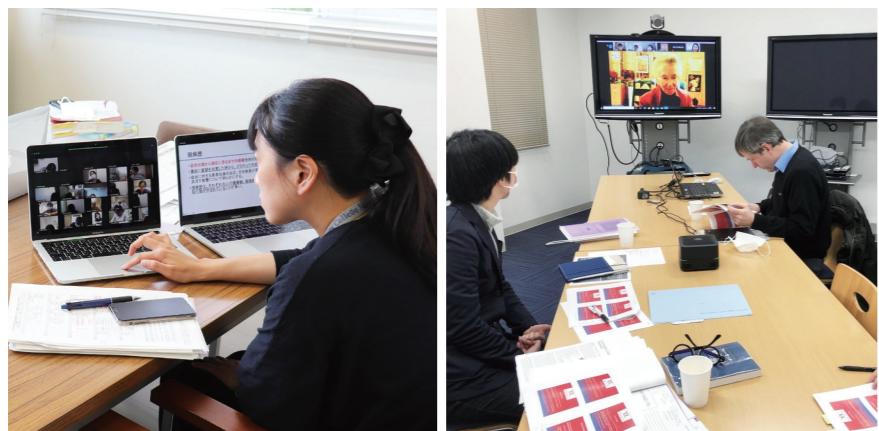
5 お知らせ
● 財務状況等の公開
● 入試での対策
● WEBオープニングパス
● 学生支援方策
● 図書館の感染対策
● 健康管理センターから
● 教育懇談会を開催しました

2 MADONNA

コロナ禍における 本学の取り組み



健康観察



オンライン授業



対面授業(実習等)



各教員からSNSを使用して在学生へ動画メッセージを発信

2020年は、COVID-19によって世界中の人々の生活環境が大きく変化いたしました。誰もがこれまで経験したことがない悲しみや苦しみストレスフルな状況に身を置くことになりました。そして、それはいまもなお続いています。

聖マリア学院大学においては、学長のリーダーシップの下、4月は全ての講義を休講とし、教育の質を保証するための方法について検討いたしました。まず、大学内の組織を再考し既存のリスク管理委員会の指示を遂行する部会として、感染拡大予防対策部会を設置いたしました。本部、

会はリスク管理委員会、健康管理センター、教育の質向上委員会、学生委員会、学修支援センターとの連絡調整を十分にとりながら感染予防のための活動を実施することが期待されました。大学は感染拡大状況を注視しながら5月には全ての講義をオンラインで配信し、6月に入るとオンラインと対面授業の2つの方法をとることを決定いたしました。

大学での対面授業を行うためには、健康観察、密をさけるための教室の準備、全ての教室、図書館の消毒など、感染予防に対するありとあらゆる対策を学生と教職員一同で実施してまいりま-

した。幸いにも学生及び教職員全員がCOVID-19に感染することなく2021年を迎えることができましたことに心より感謝いたします。

しかしながらCOVID-19による感染拡大は、今もなお終息をみるとなく猛威を振るっています。私どもは今後も感謝と希望を持ち続け、感染予防と教育の質の保証に努めると共に先が見えないことへの不安を抱える学生のケアを細やかに行っていく所存です。



聖マリア学院大学看護学部長
日高 艶子

規模縮小で初開催 昨年度の授与式

令和元年度(令和2年3月7日)の学位授与式・修了証書授与式は、卒業生ならびに教職員・保護者来賓が一堂に会する式典は、新型コロナウィルスの感染拡大防止の観点から取りやめることとし、学位記の授与・修了証書の授与をゼミ(ごく少く)行う形で実施しました。



クリスマス

オンラインで楽しむ「クリスマスのつどい」

聖マリアグループでは12月25日は毎年「合同クリスマス」が開催され、ミサ、ハンドベル演奏会などが催され、夜は病院のスタッフや、本学の学生・教職員等で編成された何グループもの聖歌隊が、病棟の患者様や社会福祉施設の入居者様のもとへ、直接聖歌のプレゼントをお届けする

キヤンダルサービスが催されていました。今年は、例年のような合同クリスマスは開催できませんでしたが、大学、在学生、教職員、社会福祉施設「ウエルフェアマリア」をZoomで繋ぎ、オンライン「クリスマスのつどい」を開催しました。

はじめに、井手信学院長より、聖マリア病院開設以来、ずっと継続されてきたこの伝統的な行事について、その趣旨や思い出などが語られました。そして、ジュセッペ神父様からはクリスマスのメッセージが、毎年聖歌隊に参加されている卒業生の河野佑軌さんからは、在学生に向けてのメッセージが、それぞれ動画で放映されました。そのほか、雪の聖母聖堂に響き渡るパイオルガンの演奏や、クリスマスの起源についての紙芝居などがオンエアされ、会場は一気にクリスマスマードになりました。



卒業生 河野佑軌さん(福津市保健師)

最後に、ジュセッペ神父様とともに、コロナ禍の早期の終息と、医療従事者への感謝、そしてそれぞれの身近な人びとが健やかで元気でいることを願い、皆で祈りを捧げました。



聖マリアグループでは毎年、合同クリスマスが開催され、ミサ、ハンドベル演奏会などが催され、夜は病院のスタッフや、本学の学生・教職員等で編成された何グループもの聖歌隊が、病棟の患者様や社会福祉施設の入居者様のもとへ、直接聖歌のプレゼントをお届けする

最後に、ジュセッペ神父様とともに、コロナ禍の早期の終息と、医療従事者への感謝、そしてそれぞれの身近な人びとが健やかで元気でいることを願い、皆で祈りを捧げました。



卒業生 河野佑軌さん(福津市保健師)



教育懇談会を 開催しました

在学生の家族(保護者/希望者制)を対象とした教育懇談会を年次開催しているところ、本年度は、大学における感染症対策についても、時系列また項目別に説明を行うとともに、コロナ禍長期化を想定し、ご家庭における健康管理等へのご理解とご協力ををお願いしました。

教育懇談会を 開催しました



コロナ禍、病棟の患者さんを見舞う毎年恒例のキヤンダルサービスはできませんでしたが、実習病院・聖マリアヘルスケアセンターの患者さんへ、本学看護学生より、オンラインで聖歌のプレゼントを行いました。他者のために祈ったひとととなりました。一人ひとりがかけがえのない存在であることを感じさせてくれました。聖堂に集まることがで、「召命のつどい」でもあります」という宣言でありました。



[開催日時] 2020(R2)年10月1日(木)
10時半開式
※オンライン開催(Zoom)
[対象] 看護学部1年生(109名)

クリスマス プレゼント



患者さんへの クリスマス

コロナ禍、病棟の患者さんは涙を流す患者さん…。モニターを見つめながら、涙を流す患者さん…。患者さんのプレゼントのつもりが、こちらが癒されました。

クリスマス

図書館の感染対策

図書館では、感染対策を徹底したうえで、開館しております。
(入館前にアルコール消毒、健康観察を実施、館内ではマスク・手袋の着用をお願いしております)



閲覧席は間隔を空けて。館内は、定期的に換気と消毒を行っています



感染症の理解を深めるために、新型コロナウイルスをはじめとした感染症に関する図書の展示コーナーを設置

健康管理センターから



中山教授を囲んで健康管理センターと
感染拡大予防対策部会のみなさん

2021年3月1日現在、本学学生及び教職員からの新型コロナウイルス感染は確認されておりません。これは皆さまの感染意識の高さと日々の感染予防行動の徹底によるものと考えられ、とても嬉しく思っております。

今後も、新型コロナウイルス感染症に関する状況は刻一刻と変化してきます。最新の正確な情報を確認し、学生・教職員一丸となって、感染予防に努めていきましょう。



センター長
中山 和道 教授

学生支援方策

コロナ禍の学生に対する経済的支援及び学生支援、修学支援等について、対策を講じ実施しました。
(各施策は下記のとおり)

経済的支援

- 遠隔授業環境支援費(全学生一律50,000円給付)
- 高等教育修学給付金、学びの継続のための「学生支援緊急給付金」^(*)(111名受給)
- 学納金納付期限の猶予措置(延納・分納)
- 寄付金を財源とした大学独自の給付型奨学金(104名受給)
(※)を対象とした補完的措置として／1人あたり45,000円：返済不要)

学生支援・修学支援

- 担当チューター教員による全学生への電話連絡及び継続フォロー(学修、メンタル、健康、生活等)
- オンラインでのチューター交流会、定期的個別面談、リモート補講、個別学修支援
- 学生支援センター：オンライン相談窓口の設置(約5回／月)

キャリア支援

- リモートでの自己分析講座、面接対策講座等実施(履歴書の添削・面接練習・リモート採用試験対策など)



本年度のオープンキャンパスは、すべてオンラインでの開催となりました。

例年であれば、キャンパスにお越しいただき、学内の施設や実習病院である聖マリア病院の見学ツアー、模擬授業、体験プログラムや在学生との懇談、進路相談などの各イベントに自由にご参加いただいておりましたが、本年度は新型コロナウイルスの感染拡大防止と、来訪者、学生・教職員の安全確保のため、やむを得ずこのような措置となりました。

オンラインとはいっても、ご参加いただいている方に、リアルに実感・体験いただけるようプログラムや方法を工夫しました。例えばキャンパスツアーは、キャンパス内の各地点(各実習教室や教員研究室、学生食堂や事務室、図書館など)を中継で結び、各現場から教職員が施設の特徴が良くわかるよう案内を実施、また、高性能シミュレータ「シムマン」を使用した看護学生によるシミュレーション演習をライブ中継したり、WEB上にいくつかの仮想ルームを設け、1対1の個別相談に対応できるようにしました。参加中の高校生からは、リアルタイムにチャットで感想や質問が送られてきました。

コロナ禍であっても、今後もいろいろと工夫を凝らし、本学の様子や特徴がよりご理解いただけるような内容・方法で、ご参加くださった皆様がオープンキャンパスを楽しんでいただけるよう努めさせていただきます。

※各写真は9月12日のオープンキャンパスの様子です



大学事務室での生中継の様子



シムマンを使用した演習の様子

国家試験対策

本年度の国試対策は、オンライン補講や在宅での模試の体制へと切替え、4年生が例年と変わらず試験に備えられるよう準備を行いました。

主な対策

- 補講をオンライン(zoom、teams)で実施
- 業者補講をオンライン(オンデマンド)で実施
- 模試は自宅へ郵送
- 国試フェアをオンラインにて開催
- 学内外どこでも利用可能な国試学修支援ツールの契約(医学書院webサービス)
(これまで学内PC室からのみのアクセス→自宅からでもアクセス可能に)
- 受験票の自宅郵送
- その他説明会、学修支援、面談等を隨時オンラインにて実施

入試での対策

会場の消毒、換気の徹底をはじめ、処々の感染防止策を実施しました。また、感染者、濃厚接触者等に対する受験日振替措置を講ずるなど、受験機会確保に努めるようにしました。



受験生お一人お一人に対し、体温測定と健康観察を実施

在学生、並びにご家族のみなさまへ

■ 教務課からの各種お知らせについて

在学生並びにご家族の方に対し、単位認定試験の結果(再試験対象となる科目の有無)、成績通知書等をお届けしております。学生の皆さんにとっては既に周知の内容もあるかと思いますが、ご家族の皆さんにとりましても、大学生活や学修に関する情報を共有するものとして活用いただければ幸いです。

■ 「保健師」国家試験受験について (保健師コースの履修について)

本学では、2012年度入学生より「選択制」となっております。保健師国家試験の受験資格を得るために看護学部卒業に必要な単位数に加え、3年次以降に開講される「公衆衛生看護学」に関する所定の科目の単位を修得する必要があります。保健師コース履修を希望する場合は、2年次後期に申込み手続きを行い、学内選考により履修者を決定します(学生の皆さんには選考試験の概要並びに選考日等詳細については既に説明を終えています)。なお、保健師コース履修には、課程履修費として、別途80,000円が必要になります(平成29年度履修者より適用)。

■ 大学での履修について

科目的履修に際しては、特定の科目については履修要件があることや(※)、上級学年に進級するための要件(進級要件)があること、卒業までに要する科目や単位数(卒業要件)が定められていることなど、予め知っておくべき重要な事項があります。これらは、年度始めに配布する「履修の手引き」に明記されていますので、学生の皆さんは、履修ガイダンスに参加することはもちろんですが、自ら履修に関する情報を収集し、把握するように努めることが必要です。なお、カリキュラム改正等に伴い、履修に関する諸規程も改正となることがあります。入学年度によって適用する規程が異なることがありますので、不明な点が生じた場合は教務課へお尋ねください。【※:基盤臨床系科目や各論実習科目を履修するためには、各々の科目の履修要件(例:科目Bを履修するためには科目Aの試験に合格していることが必要)などを満たす必要があります。】



本学の奨学金制度について

詳細につきましては学生課までお問い合わせください。

☎ 0942-50-0222

特待奨学金

金額:50万円または20万円
返還義務:なし
採用人数:若干名

子弟等奨学金

金額:入学金相当額の半額
返還義務:なし

緊急時奨学金

金額:当該学期の学納金相当額を上限
返還義務なし 採用人数:若干名

雪の聖母会聖マリア病院 聖マリア奨学金

金額:年間の授業料相当額を上限
返還義務:卒業時に一括返還※
貸与期間:修業年間を上限 採用人数:若干名

※聖マリア病院へ就職した場合は、給与より返還

誰が感染してもおかしくない現状はもはや他人事ではない。収束には当事者である私たち一人ひとりの自覚ある行動が不可欠となる。これまでの生活が一変します。様々な不自由や制約で何かと息苦しい。しかし、命を支える医療従事者の皆さまの日々の献身と奮闘に心馳せる時、儘ならぬ現況への不平不満をグッと堪え、感染拡大防止に「自分にできること」を体現できる人でありたいと切に思う。

**St. Mary's College**
聖マリア学院大学

